



広

報

あつま

2010

8

No. 696

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

高校最後の夏
この瞬間を僕らは忘れない

いんにちは厚高です

学習活動の特色

本校は四月に新しく三九人の新生を迎え、全校生徒は一〇九人となりました。一学年一学級という小規模校であることの利点を最大限生かして一人一人が分かる授業を目指しています。さらに「地域キャンパス校」として「センター校」である苫小牧東高校からの授業支援も三年目を迎えました。ここでは本校の特徴的な授業について説明したいと思います。

★少人数授業

三年生の「現代文」の授業でクラスを半分にした二展開の少人数授業を行っています。本校の国語教諭と苫小牧東高校の教諭がクラスを半数を交互に受け持ちます。十数人の生徒と教師が意見を交わしながらいきいきと授業に取り組んでいます。

★チームティーチング

一、二年生の数学の授業では、本校の数学教諭と苫小牧東高校の教諭の二人で指導するチームティーチングを実施しています。

りわけ、数学が苦手な生徒への個別指導の機会をふやし、基礎・基本の定着を重視した授業を展開しています。

★生きた英語に触れる

各学年の英語の授業には週に一度、英語指導助手（ＡＬＴ）を迎えています。本校の英語教諭の他にＡＬＴが二人という三人で行う授業もあり、生徒は身近に生きた英語に触れています。また、放課後の英語同好会の活動でもＡＬＴとの会話やゲームを通じて楽しみながら国際感覚を養っています。

★家庭生活の基礎を身に付ける

三年生の「家庭看護福祉」（選択科目）の授業では隣接するグループホームやわらぎへ見学・実習を行います。さらに点字・手話の専門講師を招いて学習します。二年生の「家庭総合」の授業では保育所訪問も実施しており、家庭生活に必要な育児と介護を高校時代から体験的に学んでいます。

★情報化社会への対応

情報と商業の授業では現代生活に必要なパソコン操作やＩＴ技術

の習得を行います。パソコン教室では生徒ひとりに一台のパソコンがあたり、指導は二人体制で実践的な実習授業を行っています。

★個々の実力をつける

生徒の学力向上を図るために、家庭学習課題を毎日課しています。そして全教員で分担して添削指導をし、一週ごとにその確認テストを行っています。理解が不十分な生徒には放課後に個別指導を行い、基礎学力の養成を徹底しています。

今年度の進路活動概況

昨年度は非常に厳しい就職環境でしたが、ハローワークなどから入る情報によれば、今年度も引き続き同様の状況が続くようです。

今年度の３年生は36人で、そのうち約３分の１の生徒が進学、約３分の２の生徒が就職を希望しています。進学を希望している生徒は、積極的にオープンキャンパスや進学相談会に参加し、志望校を具体的に絞ってきているところです。また、ＡＯ入試を受験する生

徒のなかには進学先を決める人も出てきました。７月に入り新規高卒者向けの求人票が公開されましたが、出足は低調で、就職希望者には厳しい状況です。夏休み明けまでに求人が増えてくれることを期待しているところです。新規高卒者の採用をお考えになっている事業所がございましたら、町内外を問わず情報をご提供いただけると幸いです。よろしくお願いいたします。

生徒会活動について

今年は、例年より１週間ほど早い７月９日（金）～１０日（土）の２日間、年間最大の学校行事である学校祭が開催されました。

○総合テーマ：「青春」～スマイル 一番いい××××○

○装飾テーマ：「映画」

今年はこちらで第30回の記念すべき学校祭でしたので、右記の２つのテーマのもと、生徒たちだけでなく、日頃からお世話になっている地域の方々にも楽しんでいただける学校祭を目指して、準備

から、最優秀賞に輝きました。

２日目は、ＨＲ発表やバザー、教員発表や生徒個人発表が主たる内容でした。各クラス工夫を凝らしたお店を出店しましたが、その中でも目を引いたのが２年生でした。暑い夏にはびつたりの涼しげな「ホラー喫茶」は、装飾部門でも最優秀クラスに選ばれました。２日目の土曜日は、朝からあいにくの雨模様でしたが、足下の悪い中でも多くの方が学校祭に来ていただき、本当にありがとうございました。

皆様方のご支援のおかげで、夕方から雨雲も吹き飛び、後夜祭の最後を飾る花火も、好天の中、盛大に打ち上げられました。

来年もより地域に密着した、良い学校祭を築き上げていきたいと思えますので、今後とも皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

部活動について

☆【テニス部の紹介】

厚真高校テニス部では、今年度に入り新入生が９人も入部しました。３月まで現３年生が１人しかいなかったのが部員急増です。ほぼ全員が初心者ということで、楽しくテニスができるようなレベルに持つていくことがまず最初の目標です。一人の経験者をのぞき、初心者者の技術は試合に出るまでに

至っていませんが、目標の達成を目指しています。上手な人のテニスをしていると簡単そうに見えるですが、実際にラケットで思い通りの球を打つというのは難しいものです。初心者者の新入部員達もテニスの難しさに苦戦しているところ

です。



今年度、新入部員が９人増え
今後の活躍が楽しみなテニス部

☆【自然科学部】

昨年まで頑張った３年生２人が卒業し、部員が２年生１人になるところでしたが、新入生が２人も入部してくれたので、少数精鋭の３人で活動しています。現在は、火山灰の顕微鏡観察の練習や、野

外で火山灰を認定する練習などを行っています。昨年は、ローム層の帯磁率の研究を高文連で高く評価していただくことができました。さらに、その以前に調べたローム層の砂粒組成の成果を論文にまとめることもできたので、２００９年度は実り多い年となりました。２０１０年度は、これまでとは違った切り口でローム層や火山灰にアプローチするための手法の開発に、新入生部員をまじえて知恵を絞っていく予定です。



今後も地層研究の成果が期待される
自然科学部の部員たち

☆【バドミントン部】

今年度からバドミントン部は、顧問が変わり新体制となりました。部員は男子５人、女子５人の合計１０人で活動しています。バドミントン部は、地区大会を勝ち抜き全道大会で活躍することを目的としています。その目的を達成するために毎日の練習の中に高い目

標を持ち、「苫小牧の高校に勝つぞ」という強い気持ちを持って、日夜厳しい練習に取り組んでいます。

４月に行われた国体予選では、河村・西谷がベスト８に入り、全道への切符が見えてきました。高体連では、良い結果は残せませんでした。次に繋がる試合をしてくれました。この悔しさをバネに、一歩ずつ前進し全道大会への切符を掴んでいきたいと思っています。



部員全員が全道大会を目標に
練習に励むバドミントン部

☆【野球部】

野球部は、７月に３年生が引退し、現在選手９人・マネージャー２人の１１人で活動しています。今年度これまでの戦績は次のとおりです。

《春季大会》
・１回戦
対伊達高校 ５対４ 勝利



春季大会１回戦で勝利し
みんなで喜びを分かち合う野球部



今年の学校祭でのひとコマ



絶対絶命のピンチで内野手がマウンドへ。前川監督は「後ろに8人守ってるんだ！みんなを信じろ」と伝令に託す



9回の表にビックチャンス到来!! クリーンアップの連打で一挙3点を返し、ベンチのボルテージは最高潮に



1人は
みんなのために

1人のために
みんなは

第92回夏の高校野球大会室蘭支部予選に厚高野球部が出場しました。初戦の相手は同ブロックの優勝候補の白老東高校。試合は、両校がつぶり四つの戦いを展開し、結果は惜しくも4対6と敗れはしましたが、最後のアウトまであきらめない選手達の姿に、球場内は温かい拍手に包まれていました。

第 92 回

高 厚

夏の高校野球大会室蘭支部予選



野球部フット特集

「厚真町ハスカップフォーラム」を開催します！

目 的

厚真町の特産であるハスカップの産地PRと生産振興、消費拡大を図る。

主催および後援

- ①主催 JAとまこまい広域、厚真町ハスカップ部会
- ②後援 胆振総合振興局、厚真町

開催日時

平成22年8月27日（金） 13：30～16：00

会 場

厚真町総合福祉センター

内 容

- ①ハスカップ栽培の概要
 - ・ハスカップの栽培概況（発芽～開花～収穫～剪定）をスライドで紹介
- ②講演
 - ・株式会社三星 工場長 高田 慎一さん
 - ・北海道立林業試験場 緑化樹センター 生産技術科長 脇田 陽一さん
- ③パネルディスカッション

参集範囲

厚真町ハスカップ生産者、ハスカップ加工実需者、一般消費者、JAとまこまい広域、胆振農業改良普及センター、胆振総合振興局、厚真町役場等

問い合わせ先

とまこまい広域農業協同組合 営農販売部そ菜園芸課 峯村憲治さん

☎ (0145) 27-2241

相談は安心ダイヤル #9110

9月11日は「警察相談の日」

警察では、身の回りでの不安な出来事など、生活の安全に関する幅広い相談に応じています。

◆緊急の事件事故の通報は

…「110番」へ

◆緊急の事件・事故意外の相談は

…「#9110」へ

それぞれお掛けください。

一般加入電話のほか、携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

また、苫小牧警察署のホームページでは、警察以外の専門窓口も掲載していますので、ホームページ内の「警察相談」のコーナーをご覧ください。

苫小牧警察署ホームページ

http://www.tomakomai-syo.police.pref.hokkaido.jp/index.html

苫小牧警察署

☎0144-35-0110



第22回参議院議員通常選挙 本町における投開票結果

第22回参議院議員通常選挙（選挙区・比例代表）の投開票が、7月11日に全国一斉に行なわれました。

全国の投票率（選挙区）は57.92%、北海道では61.89%、厚真町が72.52%でした。

また、本町の投票率は、前回（2007年7月

29日）行なわれた参議院議員通常選挙の72.97%と比べて0.45ポイント下がりました。

本町における参議院議員通常選挙の選挙区と比例代表の投票所別の投票結果と開票結果についてお知らせします。

投票所別投票状況（選挙区・比例代表とも同じ）				
区	投票所	選挙当日の有権者数	投票者数	投票率%
1	総合福祉センター	2,424	1,751	72.24
2	高齢者生活自立支援センター「ならやま」	288	232	80.56
3	厚南会館	1,043	724	69.42
4	豊丘マナビィハウス	346	267	77.17
合 計		4,101	2,974	72.52



投票が町内4会場で午前7時から一斉に始まる。高齢者生活自立支援センター「ならやま」の投票の様子

選挙区開票結果（届出順）		
候補者名	政党名	得票数
徳永 エリ	民主党	705
大林 まこと	幸福実現党	38
長谷川 岳	自由民主党	1,195
中川 けんいち	みんなの党	262
はたやま 和也	日本共産党	143
藤川 まさし	民主党	542
投票総数2,974票 うち有効総数2,885票 無効票数89票 投票率 72.52%		

比 例 代 表 得 票 数 （ 届 出 順 ）				
政党名	得票総数	政党等の得票総数	名簿登載者の得票総数	名簿登載者の氏名（整理番号順）
幸福実現党	18	17	1	ドクター・中松 1
みんなの党	212	202	10	しばた巧1、まやま勇一1、館のぶひで2、つただ恵子1、田中まさえ1、若林アキ1、吉田すずか1、上野ひろし1、寺田すけし1、
民主党	1,092	940	152	有田芳生12、安藤たかお4、池谷幸雄3、石井茂1、石橋みちひろ1、いたくら一幸2、えさきたかし32、大石正光3、加藤としゆき3、くどうけんたろう1、小林正夫34、下田あつこ1、庄野真代1、竹内栄一6、たしろかおる8、谷亮子10、津田やたろう2、なおしま正行5、なかにや正義2、なんば奨二10、西村まさみ1、白しんくん4、前田ゆうきち1、円より子1、八代英太3、柳沢みつよし1
女性党	23	20	3	福井ちよ1、石川けい子1、永井久美子1
自由民主党	856	747	109	あかいし清美1、あだちまさし2、うすい正人1、うとたかし3、片山さつき5、神取忍1、佐藤ゆかり3、たかがい恵美子2、つのだ宏子1、なかのまさし2、中村ひろひこ12、藤井もとゆき1、堀内恒夫2、まつなみけんしろう4、水おち敏策12、三原じゅん子3、もんでん英慈26、山谷えり子20、脇まさし7、渡辺ともよし1
新党改革	33	30	3	中村ゆきつぐ1、はとやま太郎2
社会民主党	54	50	4	福島みずほ3、浅野隆雄1、
たちあがれ日本	54	22	32	中川義雄25、中畑清3、三木けん1、藤井げんき1、片山とらのすけ1、中山なりあき1
日本創新党	12	9	3	中田宏 3
国民新党	43	17	26	長谷川けんせい19、敏いとう1、ごとう俊秀3、あらと英夫1、江本孟紀2
公明党	337	139	198	よこやま信一195、浜田まさよし1、浮島とも子1、鈴木敏之1
日本共産党	125	122	3	市田忠義1、大門みきし1、神田美佐子1
投票総数 2,974票 うち有効総数 2,859票 無効票数 115票 投票率 72.52%				

厚真のまちの話題

二人の幸せはここから： 1組のカップル誕生!!

厚真町婚活イベント実行委員会（桜井裕司委員長）が初めて企画した「グルメと婚活よくばりツアー」が7月10・11日にかけて行われ、札幌、苫小牧などから男性26人、女性23人の計49人が参加しました。初日、本郷マナビイハウスに集合しオリエンテーションが行われ、宮坂町長が「厚真のいいところ、楽しい場所を十分に堪能しながら、多くの素晴らしいカップルが誕生すれば」と歓迎のあいさつ。その後3班に分かれハスカップ・イチゴ・シイタケの収穫体験を行い、夜は本郷マナビイハウス前を緑日風にし懇親会が和やかに開かれました。最終日、午前中はスポーツセンターでミニバレーを楽しみ、バーベキューの昼食後、イベント最大の目玉であるカップリングタイム。男女が互いに意中の相手を紙に記入したところ、町内参加者同士の谷田川知典さんと平賀友子さんが見事カップルに。桜井委員長から紹介を受けた二人は、終始照れくさそうな表情を浮かべていました。



歓迎のあいさつを行う宮坂町長

カップルとなった谷田川さん(中央)と平賀さん

色とりどりの草花を植栽 ガーデニング講習会

町コミュニティ運動推進協議会（松井満男会長）が主催するガーデニング講習会が7月3日、北海道グリーンコーディネーターの黒田正子さんを迎え総合福祉センターで行われました。

今年で8回目となる講習会は、町内の主婦を中心に約30人が参加し、講演と寄せ植え実習の2部構成。黒田さんは「ローズマリーやワイルドオーツなど北海道仕様でない宿根草は氷点下5度以下で越冬しない。どこかに置いてデザインを」と参加者に笑顔で呼び掛けていました。



愛情込めてプランターを製作する参加者

「サーフツーリズム講演会」 交流から定住につながる仕組みづくりを

役場若手職員で構成する臨海施設ゾーン活性化PT主催の「サーフツーリズム講演会」が7月29日、総合福祉センターで行われ、町民約50人が参加しました。講演に先立ち古川副町長が「これからは、無いものねだりではなく有るもの探しを。海という貴重な地域資源を生かすべき」とあいさつ。講師に招かれた、サーフツーリズム構想を提唱する国立大学法人福島大学の奥本准教授は「海はサーファーだけのものではない。海全体を老若男女すべての人が共生できる場所にしなれば」と提言。その後も、奥本准教授の理路整然とした話しぶりに、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。



全ての人が海と共生できることが大切と話す奥本准教授

笑い声と歓声がスタードーム内にこだま

町高齢者レクリエーション大会が7月15日、あつまスタードームでベタンク競技を種目に行われ、各地域の老人クラブなど28チーム約100人が参加しました。開会式で宮坂町長が「心は熱く、頭は冷静に。皆さんの知恵を働かせ若さを発揮し楽しんで」と選手たちを激励。室内専用でもズシリと手ごたえのある重さの球を、3人1組の選手たちは、作戦を練りながら投球し、ボールの行方に笑い声と歓声がドーム内にこだましていました。



教育委員会では、児童の虫歯予防を目的に学校内でのフッ化物洗口を推進しています。今年度から歯科疾患の有病率が高い地域を推進指定校とし、中央小、上厚真小の2校が指定を受け1回目の7月15日、中央小では全校児童の大多数が洗口を実施。洗口方法は、フッ化ナトリウムを水道水で希釈した洗口液10mlを1分間うがいするもので、高い安全性と確実な予防効果が期待できる予防法です。兵頭教育長は、「全ての児童が参加し虫歯の無い健康づくりを」と呼びかけていました。



フッ化物洗口で虫歯予防！



厚真の田んぼには「生き物がたくさんいるね」町土地改良区（山田英雄理事長）が主催する「田んぼの生き物調査」が7月7日、豊沢地区の用水で行われ中央小学校の3年生14人が、たも網で用水をさらい、田んぼの生き物を採集しました。木戸響己くんは「網は重くて大変だったけど、ドジョウやカエルがいっぱい取れたよ」と無邪気な笑顔を見せていました。また、14日には上厚真小、富野小の3年生も同じ調査をしました。



「いじめは絶対ダメだよ」上厚真小で人権教室上厚真小学校（横山守校長）で7月13日、人権擁護委員小笠原保典さん（苫小牧、本町の人権擁護委員高田真知子さん朝日）の2人の講師を迎え、人権教室が同小4年生を対象に行われました。この教室は、いじめなどの防止啓発を目的に毎年実施しているもの。講師から「いじめは絶対にダメ。相手を思いやる心を大切に」との助言に児童たちは、真剣なまなざしで聞いていました。



青少年健全育成の集い 非行・被害防止を呼びかけ

町青少年健全育成委員会などが主催し、青少年健全育成の集いが7月1日、厚真中学校（濱口明雄校長）で行われ、小・中学生や町内各学校の教諭、来賓など約130人が集い、青少年の非行や被害の防止を誓いました。

開会あいさつで野澤委員長が「厚真の子どもは言葉づかいがよく礼儀が正しい。町の誇りである」と述べ、その後児童・生徒を代表して厚真中の生徒会長高橋恭祐くん（3年）が誓いの言葉を読みあげました。また児童・生徒の代表5人が前に出て標語を力強く読みあげていました。



真剣な表情で粘土を造形する参加者

世界に一つのオリジナルカップを！

町教育委員会が主催する陶芸教室が、7月5・6日の2日間にわたり創作館「じゅらく舎」で行われました。この日は定員いっぱいの15人が参加。豊沢の自宅に窯を持つ杉井紀子さんが講師に訪れ、1kgの粘土で「オリジナルカップ」を製作。参加者は杉井さんから手ほどきを受けながら、指先に力を込め自らが思う形を粘土で造形していました。

杉井さんは「陶芸の楽しさをいろんな人に知ってほしかった。ここは素晴らしい施設ですし、ぜひ多くの皆さんに利用してもらいたいです。陶芸を新しい趣味にどうですか」と笑顔で話していました。

銀メダリスト穂積さん厚真で陸上トレ

バンクーバーオリンピック銀メダリストの穂積雅子さん(ダイチ所属)が冬のスケートシーズン到来を前に、基礎体力と足腰強化を図るため、ローラースケートやランニングなどの陸上トレーニングを新町の町民スケートリンクで行いました。穂積さんは7月上旬の約2週間、自宅のある千歳から厚真までトレーニングの一環も兼ね1時間かけ自転車で行った。厚真の印象を「緑が多くて自然豊かで住みやすそうですね」と笑顔で話し、4年後のソチオリンピックの抱負を「前回よりも良い成績が残せるよう1日1日を大切に過ごしたい」と意欲を語っていました。



ソチオリンピックの抱負を語る穂積雅子さん

漂流中のサーファーを無事救助

6月16日に社団法人日本水難救済会浜厚真救難所(澤口伸二所長)所員が、浜厚真海岸から約600m沖合を漂流中のサーファー1人をいち早く発見し、直ちに救難所員を参集させるとともに所属船を現場に急行させ無事救助に貢献したことから、同救難所に苫小牧海上保安署長から感謝状が贈呈されることになりました。

7月25日、その伝達式が苫小牧西港漁港区(苫小牧漁組前)で行われ、伝達式では苫小牧海上保安署長から浜厚真救難所員を代表して、澤口伸二所長へ感謝状が手渡されていました。



苫小牧海上保安署長から感謝状を受ける澤口所長

荒谷さん家の農園でハスカップ摘み

厚真中央小学校(石井告美校長)の3年生14人が7月9日、高丘地区の荒谷さんのハスカップ農園で「ハスカップ摘み体験」の授業を行いました。総合的な学習として郷土の産業や特産物を学ぼうと行われたこの授業では、たわわに実る木を目の前に、1つ1つのハスカップの実を丁寧に手摘み体験。

畑果澄さんは「木によって酸っぱいものや甘いものがありました。今日はたくさん摘みたいと思います」と食味を楽しみながら、子どもたちは満面の笑みを浮かべ作業を進めていました。



味見をしながら摘み取る中央小児童

北電と町が共同でヤチダモなどを植樹

北海道電力(株)苫厚真発電所(成田雅則所長)と町による「1号機運転開始30周年・町制施行50周年を記念した植樹会」が7月29日、それぞれの職員合わせて14人が参加し新町町民広場で行われました。

作業に先立ち成田所長が「今日の植樹会がお互いに良い記念になれば」とあいさつ。植樹方法は、ナナカマド・ドロノキ・ヤチダモなど100本を「カミネッコン」と呼ばれる再生紙ダンボールから作られた紙型枠に培養土と苗木を入れたものを土面に直接置くものです。参加者は、額に汗を浮かべながら一生懸命作業にあたっていました。



阿吖の呼吸で植樹を行う成田所長と古川副町長

20年前の思いを掘り起こす。富里でタイムカプセル開封式



タイムカプセルを開封する関係者

旧榎山小中学校跡地で7月18日に「タイムカプセル開封式」が行われました。榎山中は平成元年に、2年後の平成3年には榎山小も閉校。当初タイムカプセルは昭和52年に埋め、平成2年に掘り起こしましたが廃校になるまなびやを偲ぶきっかけにと、平成3年に再び同地に埋め戻しました。今回、町制施行50周年の節目に合わせ、当時の小中学生や同窓生約50人が集まり旧友との再会を楽しみながらタイムカプセルを開封。

来賓の元同小校長坂元錦一さんは「今日までタイムカプセルを大切に守ってくれて感謝」と述べ、宮坂町長も「温故知新。先人から未来のために贈り物をしてもらった。もう一度その思いをかみしめて」と祝辞を述べました。卒業生の山野下誠さん(39・本郷)は「とても懐かしい。みんなと再会できた感激でいっぱいです」と笑顔。当時埋めた教科書や写真などを取り出ししながら、関係者は思い出に浸っていました。

恐ろしさを理解。薬物乱用防止教室

厚南中学校(及川信道校長)の全校生徒が7月20日、厚真ライオンズクラブの井上次男さん(本郷)、宮西政志さん(軽舞)、黒澤壽紀(新町)を講師に迎え、薬物乱用防止教育の授業を受けました。

講師の3人は、昨年度、函館市において開催された講習会で「薬物乱用防止教室講師認定証」の資格をそれぞれ取得。講師を代表して井上さんは「薬物の汚染は私たちの身近にせまってきている。誘いにのっては絶対ダメ。自分の未来を破滅しないためにも、薬物の恐ろしさを正しく理解して」と全校生徒を前に真剣なまなざしで呼びかけていました。



薬物の恐ろしさを呼びかける井上さん

軽舞小児童「気球に乗って大空へ」

軽舞小学校(油谷諭校長)の全校児童11人が7月15日、熱気球の搭乗体験を行いました。来年3月末の閉校を前に、同小と閉校記念協賛会(西村政志会長)が児童の思い出づくりとして学校キャンプに合わせて企画し、北海道気球クラブ会員の高橋清吾さん(宇隆)が協力。

夕方から準備を始め児童や父母、卒業生約50人が見守る中、球皮にガスバナーで熱気を送り込み、球皮はどんどん膨らみ児童たちは「すごい」と歓声を上げていました。3〜4人ずつ乗り込み上空高さ10mほど浮かぶと、児童は初めて乗る気球から地上へ向け手を振っていました。



気球体験を笑顔で楽しむ軽舞小児童たち

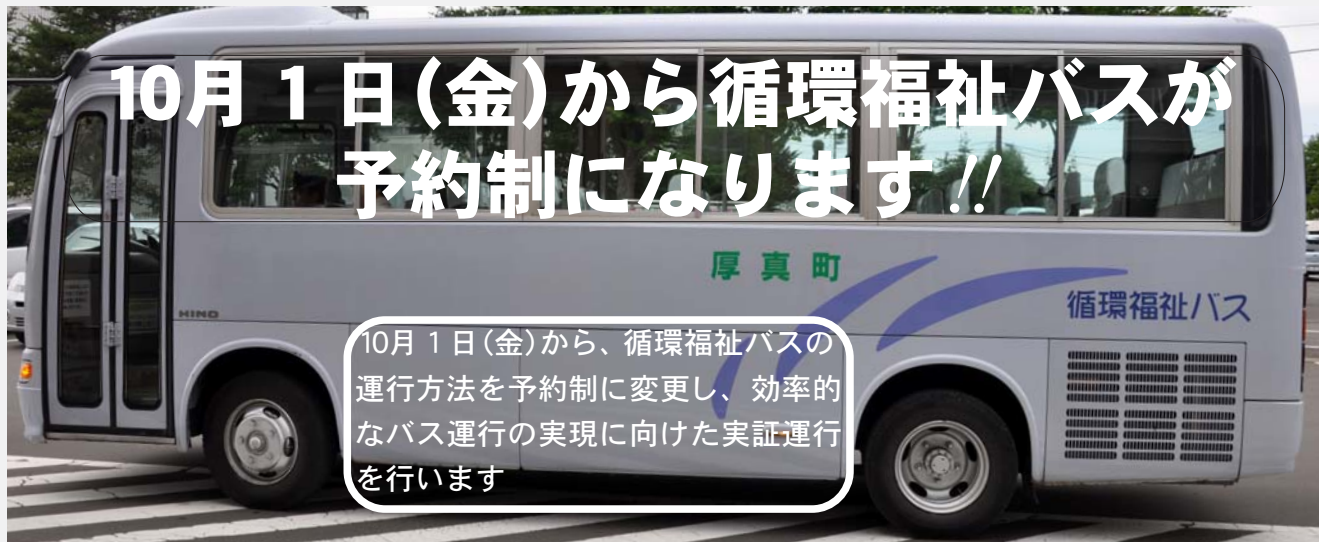
紫の宝石ハスカップ。新品種のPRを！

厚真町ハスカップ部会(犬飼仙松会長)が7月12日、犬飼仙松会長(東和)、山口善紀さん(宇隆)などが役場を訪れ、昨年12月に品種登録された甘くてフルーティーな味わいの「ゆうしげ」、さわやかな酸味が特徴の「あつまみらい」のハスカップ2品種を宮坂町長に1箱ずつ手渡しました。

同部会の山口善紀さんは「全国の消費者に恒常的に『ゆうしげ』、『あつまみらい』が注目されるようになってほしい」と抱負を述べ、2品種のハスカップを試食後、宮坂町長が「これほどおいしいハスカップを、どうにか全国に知ってもらえるようPRしていきたい」と応えていました。



町長にハスカップを渡す犬飼会長と山口さん



●運行方法

10月1日(金)からの循環福祉バスは、次のような場合に運行します。

- ①予約があった場合 利用者の自宅付近から市街地、または市街地から利用者の自宅付近まで運行します。
 - ②予約がなかった場合 循環福祉バスは運行しません。
- ※予約とは、電話などで「いつ」、「誰が」、「どこからどこまで乗車する」を予約受付センター（あつまバス）に予約することです。今までの運行路線と各便の始発時間は変更ありませんが、途中乗車の方の時間が変更になることがあります。

循環福祉バスを利用する方は、循環福祉バスが効率的に運行できるよう利用者登録をお願いします。登録方法は、折り込みチラシの循環福祉バス利用申込書に記入の上、まちづくり推進課または上厚真支所に8月31日(火)までに申し込んでください。(FAX可)

6月15日から7月22日の間、実証運行に向けて循環福祉バス各路線で利用状況等について調査を行いました。利用者の皆様のご協力ありがとうございました。

問い合わせ先 役場まちづくり推進課企画調整グループ ☎ 27-3179

もしもの時のために皆さんも

普通救命講習を

普通救命講習は、急病や交通事故など緊急に応急手当をする傷病者に対して、救急隊が現場に到着するまでの間、その場に居合わせた人たちによって適切な応急手当をしていただくための基礎知識を習得していただくことを目的としています。

- 日時 9月5日(日) 午後6時～午後9時
 - 場所 消防署厚真支署(第1分団詰め所)
 - 内容 普通救命講習Ⅰ(心肺蘇生法・AED取扱い)
 - 対象者 高校生以上の方(新規講習および再講習)
 - 持ち物 筆記用具、印鑑
- ※再講習の方は修了証カードをお持ちください。

- 申し込み先 9月3日(金)までに厚真支署・上厚真分遣所にある受講申込書を提出してください。電話の受付も可能です。(☎26-7119)
- その他 受講の方には、普通救命講習Ⅰ修了証が交付されます。



9月9日は、「救急の日」

「救急の日」は、救急業務に対して町民の皆さんに正しい理解と知識を深めていただくために設けられています。

まちの話題 plus plus



スタート直後の激しいポジション争い

迫力の走り。全日本4輪バギー選手権

日本A TV (4輪バギー) 協会が主催する全日本A TV選手権が7月18日、浜厚真オフロードパークで行われ、4歳の子どもから国内のトッププロまでが、激しい白熱したレースを展開しました。

国内を転戦する選手権の第4戦で、国内・道内から107台がエントリー。悪路をものとしめない華麗なテクニックに、観客は引き寄せられていました。このコースを運営管理するB-styleの木戸和政代表(上厚真)は「昨年よりも参加者が多く観客も増えてうれしい。一流ドライバーのテクニックと走りを楽しんでもらえたと思う」と話していました。

旗の波で夏の交通安全を啓発

7月16～25日までの10日間にわたる平成22年夏の交通安全運動の初日にあたり、厚真市街地でセーフティーコールが行われ各団体、事業所などから約80人が集まり、旗の波でドライバーに交通安全を呼びかけました。開会式で、激励に訪れた町交通安全推進委員会会長の宮坂町長が「現在町内での交通事故死ゼロが1552日続いている。これに油断することなく気を引き締めていくためにも皆さんのお力添えを」と参加者に呼びかけました。参加者は「スピードダウン」や「シートベルト着用」などと書かれたのぼりを掲げ、ドライバーなどに事故防止を啓発していました。



夏の交通安全を呼びかける参加者



声援を送りながらプレーする選手たち

パークゴルフで6団体が交流の輪

議会、農業委員会、土地改良区、商工会、JA、森林組合の6団体による第10回親睦パークゴルフ大会が7月22日、新町運動広場パークゴルフ場で行われ64人の選手たちがA・Bコース16組に分かれ汗を流し、6団体の皆さんは親睦を深めました。

ソフトボール競技を行っていたときから数えると32回を数えるこの大会。開会式では今回の世話団体であるJAの浅野勝善組合長が「曇り空で気温が程良く、運動するにはちょうどいいのでは。スポーツ精神にのっとり正々堂々とプレーして」とあいさつしていました。

キーホルダーに願い。交通安全呼びかけ

厚真中学校(濱口明雄校長)の生徒が7月22日、こぶしの湯あつま下の道道で交通安全の街頭啓発を行いました。

生徒会(高橋恭祐会長)が毎年行っているこの啓発活動にあたり、交通事故が減ることを願い生徒全員で75個のキーホルダーを手づくり。生徒会執行部や野球部、バドミントン部の約40人が放課後現地に集合し、菅原厚真駐在所長や町交通安全推進委員の浜崎さんの協力で誘導された車のドライバーにキーホルダーとティッシュを笑顔で手渡ししながら、「交通安全でよろしくお願いします」と呼びかけていました。



交通安全を呼びかける厚真中の生徒

私の大切な家族

はな 花 女 6歳 (犬・ウォーカーハウンド)

幌内 高橋 宥悦 さん家族



いつも仲良しの娘さんの悠香さんと「花」

先月号に登場したチェリンとは姉妹の関係。「以前に飼っていた犬が亡くなり、やっぱり犬が欲しくなったんです。しばらくはめぐり会えなかったけど、ようやく運命的な出会いが訪れましたね」。花を譲り受けた決め手は、思わず目が合い「私をもらって！」と訴えかけてきたからと奥さんの幸江さんは話す。花の性格は、やんちゃ・落ち着きがない・いつまでも子供。「花は家族の中で3番目に偉いと思っています。2人の中学生の前では、すっかりお姉さん気取りなんです」と笑う。

好物のメロンを前にすれば、家族が目を離すとちゃっかりかじりついているのでメロン農家の高橋家にとっては油断大敵。「家族の帰りを、いつもシッポを振って待っててくれるんです。うちのやんちゃ娘は、高橋家の永遠のアイドルですね」と幸江さんは、ほほ笑んだ。

本

私の出会った素敵な本

「バックパッカーパラダイス」

さいとう夫婦／作

豊沢 井鳥 佳織 さん
彩 楽 ちゃん

「自然豊かな環境に住宅を建て暮らす…。そんな暮らしを思い描いていたら、ふと気がつくこの場所にたどり着いていたんですね」と5年前、ルーラルビレッジに移住してきた井鳥さん。何よりも海外旅行が好きだと話す井鳥さんの愛読書は「バックパッカーパラダイス」。

作者の漫画家夫婦が、リュック片手に安宿を探しながら2年半にわたり世界中を旅した、世界1周パノラマ漫画紀行。「チラッと目を通しただけでも、旅行気分が高揚するんです！この本を読んでからというもの、ますます私の旅行好き魂に火が付きましてね」と目を輝かせる。



26歳の時に新規就農を決意した土居さん。今回はそんな「土居さんとハスカップの物語」。

「生後10カ月までは厚真にいたんです。その後、幼小期から高校までは日高管内、学生時代は札幌でミュージシャンを目指しながら、仕出し屋でアルバイトをして過ごしていました。そんな頃に、父が厚真に戻ると聞き、そのタイミングでハスカップ農家を営む決意をし、一緒に戻ってきたんですよ。『なぜハスカップだったのか』。祖父が手掛けていたこともあって、物ごころついた時から農作物といえばハスカップしか知らなかった。だからハスカップをやるのに迷いは全然なかったんですよ」と見た目は穏やかだが、強い意志を持つ外柔内剛な性格の土居さん。

1年の大半をハスカップに捧げる土居さんは、毎年7月の農園の

開園に向け、春は剪定や開園準備、秋は肥料まきなどの作業に追われる日々が続く。今年の来園者数は、札幌・苫小牧を中心に約600人。最も遠方は神奈川県からで、それには流石に驚いたという。厚真、横浜間およそ1500km、それでもお構いなしに美味を求め、遠路はるばるこの地を訪れたお客さんはこう話したという「お土産でもらった土居農園のハスカップが、どうしても忘れられなかった」。

今もなおハスカップへの思いに満ち溢れる土居さんは、どうすれば効率よく苗木を増やせるか、通年で提供できる魅力的な加工品を作りだせるかと考えに考える。「青年部に所属してるんですが、みんなそれぞれが作っているものに対して、ちゃんとこだわりを持っている。作るものは違えど、熱い思いは一緒なんです」と言い切る。

何事にも努力を惜しまないその姿勢から、5年前、農園に訪れたことをきっかけに、伝えたいことを受け止められる接客者と手話の会に入会し、今も奥さんとともに週に1度学んでいる。

「日頃こう思ってるんですよ。いろんな人に厚真を知ってもらい遊びに来てもらうための、ハスカップがその1つの要素になればと思うんです。今、盛り上がりつつあるサーフィンなどもそう、ジャンルが違っても全てが繋がって町が元氣になれば、ハスカップという宝物を大切にしていきたいながら、ここできか食べられないものを作りたいですね」と土居さんは笑顔で話した。

出会

人

ハスカップという宝物を大切にしたい

本郷

土居

元さん (33歳)

ふるさと

図鑑



厚高インフォメーション



134

厚高の夏まつり

高校時代の大きな思い出といえば、学校祭と修学旅行というのが定番ではないでしょうか。どちらもふだんの授業では味わうことのできない経験ができる、楽しい行事といえます。

その学校祭が、七月九・十日の二日間にわたり行われました。各展示やバザー、バンド演奏に生徒会企画のイベントと、盛りだくさんの内容で行われました。その中でも、厚真高校伝統の演劇発表では、「金熊賞」（優勝クラスに与えられる金色の熊の像がその由来）をめざし、それぞれが熱い演技を披露してくれました。また、一般公開日の十日は、百名を超える方々の来場をいただき、にぎやかな雰囲気の中、大成功で終えることができました。

フィナーレを飾る後夜祭の花火大会では、三十回の節目を迎えたこともあり、いつもより豪勢に大輪の花火が夜空に咲きました。花火を見つめる生徒たちには、どんな思い出が残ったのでしょうか？

そして、厚真高校も夏休みに入り、校内の人影もまばらになりましたが、今日も部活動や夏期講習に頑張る生徒たちの声が響き渡っています。



厚真中央小 5年
織田 玲奈さん (11)

「1年生から4年生まで書道を習ってたよ。はねるところは、うまくいったかな？ 自己採点は90点です！」



厚真中央小 6年
高橋 龍くん (11)

「自分の手を描きました。手の影を上手に描けてうれしかった。絵は得意だけど手の形は難しかったよ！」

今月の記念日

9月3日は「ベッドの日」

毎日の健康管理に欠かせないのが睡眠です。良い睡眠は「good sleep（グッドスリープ）」。

ベッドで「グッ（9）」「スリー（3）」お休みして「休（9）眠（3）」をー「良い睡眠には良いベッド」が欠かせないことをもつと知ってもらおうと、全日本ベッド工業会が制定しました。

人生の三分の一は眠りの時間。快適なベッド生活は、健康生活の第一歩といえます。健康的で快適な睡眠を求めて、ベッド利用者は年々増えています。世帯レベルでは六割がベッドを使用しています。日本の寝室も様変わりし、また、高齢化社会の進展で、ベッドは寝室生活の主役となりつつあります。

ベッドにはさまざまな効果があります。例えば、スプリングマットレスの内部は空洞になっていますが、寝ることによってマットレスが押されて中の湿った空気が外に出されるとともに、マットレスから降りると乾いた空気が吸

い込まれることで、身体からの湿気を外に排出し、清潔で乾いた状態を保ちます。また、ベッドは床より高いところで使用するので、ホコリやごみなどを吸収することが少ないといえます。

ベッドを購入する際は、信用あるお店で信用あるメーカー（製造業者）の商品を選ぶことが基本です。そして、実際に寝てみるなど納得するまで確かめることが大切です。寝てみることで、よって全体に体重が分散し、その人の肌で感じた適度な堅さのマットレスが選べます。また、全日本ベッド工業会では、マットレスの中身にもこだわってほしいと、衛生や環境に配慮したマットレスを「衛生マットレス」として認定しています。

同工業会による環境基準をクリアしたマットレスには「衛生マットレス」の安全マークは付いているので、購入時には確認してみましょう。

文芸あつま ◆短歌◆

祭り中に迷ひ入りたるモンシロチョウが飛ぶ方向をしばし失ふ
（本町 飛谷 富夫）

三杯のご飯を食べて若き日は手押し除草機を一日うごかす
（本郷 清水 奎）

ストレスと頭の体操おもしろいつテレビラジオで野球を楽しむ
（新町 中田 八重）

（あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十五号』から抜粋）

ぼくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな

その105 厚真中学校



紋別岳の頂上で合唱



紹介してくれたのは…

厚真中学校 1年A組のみなさん （書いてくれたのは）米澤 麻悠さん



私たちの学年は1年A組とB組があり、A組は男子18名女子12名で、B組は男子1名です。A組とB組は給食や行事など協力して取り組んでいます。

行事では、初めての体育大会の女子選り手リレーで優勝し、先生と約束していた「焼き肉」をみんなで食べました。みんなで炭をおこして焼き肉を食べ、ドッジビーやサッカーをして遊んだことはとても楽しかったです。

校外学習の登山では、登るのが苦しくて嫌になりましたが「頑張れ」と仲間同士で声をかけたり手を貸し、協力したり助け合うことの大切さを学びました。

私たちのクラスはいろんなことがあります。けんかをするということもあります。私語が多かったり、行動が遅いなど、たくさん改善点もあります。でも、このクラスはすこく仲が良く、やればできるクラスなのです。そして、歌が大好きで、とても明るく楽しいクラスです。個性的な人がいっぱいいて、クラスを一言でいうと、まるで「動物園」みたいです。

これからは、学級目標のテーマ「責明」く明るい・責任・協力・笑顔・仲良いクラスに向けて、今以上に良くしていきたいです。

ほけんの掲示板 9月

なかよし広場・乳幼児健康相談 (厚南会館)

とき・ところ 7日(火)・厚南会館
受付 10:00～10:45
対象 H21.6.8～H22.7.7生まれのお子さんと保護者
持ち物 母子手帳、バスタオル
内容 10:00～11:00 計測、相談、自由遊び
11:00～11:30 なかよし広場(手遊び、パネルシアターなど)
その他 乳幼児相談となかよし広場を同時に開催します。計測は上記の対象児に行いますが、なかよし広場は就学前のお子さんならどなたでも参加できます。

母親教室

とき 13日(月) 10:00～13:30ころ
ところ 総合ケアセンターゆくり
対象 妊婦さんとパートナー
持ち物 母子手帳、筆記用具、エプロン、手ふきタオル
申し込み 2日(木)までに町民福祉課健康推進グループ(保健師)へご連絡ください。
その他 調理実習をします。動きやすい服装でお越しください。

1歳6カ月児健診

とき・ところ 15日(水)
受付 13:00～13:15、13:30～13:45 総合ケアセンターゆくり
対象 H20.12.3～H21.3.15生まれのお子さん(対象児には個別にお知らせします)
持ち物 母子手帳、アンケート類、歯ブラシ

乳幼児相談

とき 9日(木)
ところ 子育て支援センター
10:00～11:00
対象 H21.6.10～H22.7.9生まれのお子さんと保護者
持ち物 母子手帳、バスタオル

3歳児健診

とき・ところ 8日(木)
受付 13:00～13:15、13:30～13:45 総合ケアセンターゆくり
対象 H19.5.27～9.8生まれのお子さん(対象児には個別にお知らせします)。
持ち物 母子手帳、アンケート類、早朝尿、歯ブラシ

三種混合予防接種

とき 13日(月)～17日(金) ※16日(水)午後は休診です。
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを済ませてください。受付時間は9:00～11:30、14:00～16:30です。
対象 ①1期初回～初めての 경우에는、生後3カ月～12カ月までが標準的な接種年齢となります。1期初回を1回以上接種して、生後12カ月を越えている場合は48カ月まででできるだけ終了してください。
②1期追加～1期初回接種(3回)終了後、12カ月～18カ月まででできるだけ終了してください。
※上記以外の場合は保健師にご相談ください。
持ち物 母子手帳、印鑑

MR混合(麻しん・風しん)予防接種

とき 21日(火)～22日(水)、24日(金)
ところ あつまクリニック
受け付け 接種希望当日に町民福祉課で受け付けを済ませてください。
受付時間 9:00～11:30
14:00～16:30
対象 ①生後12カ月～24カ月までのお子さん
②平成16年4月2日～平成17年4月1日生まれのお子さん(小学校就学前の1年間にあたるお子さん)
③中学1年生(平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方)
※上記以外の場合は保健師にご相談ください。
持ち物 ①②の方…母子手帳、印鑑
③の方…母子手帳、予防票様式第三、(保護者が同伴できない場合は、予防票様式第四《保護者が署名したもの》をご持参ください。

脂肪肝とは？

厚真町の健診結果をみると例年、腹囲またはBMIが基準値を超えている人の割合が、男性で4割、女性で約3割を超えており、肝機能や中性脂肪の値が基準値を超える人の割合が特に男性で多くなっています。

肝臓の細胞は肝臓全体に約300億個あるとされています。その30%以上に「中性脂肪」がたまつた状態が脂肪肝です。肝細胞に脂肪がたまつただけの脂肪肝(単純性脂肪肝)の多くは、進行しない良性の病気です。しかし、脂肪肝から肝臓に炎症が起きて「脂肪肝炎」を発症すると「肝硬変」や「肝がん」に進む危険性があります。脂肪肝がお酒を大量に飲む人に多いことはよく知られています。しかし、脂肪肝は肥満や生活習慣病と密接な関係があり、お酒を余り飲まない人でも、それらを原因とする脂肪肝や脂肪肝炎を発症するケースが増えています。アルコール

NASHへの経過

脂肪肝からNASHに進む過程には、2つの段階があります。肥

ルが原因ではない脂肪肝と脂肪肝炎を合わせた患者数は、約1000万人といわれています。肝臓には、糖質や脂質、たんばく質などの栄養素の「代謝」、アルコールなどの有害物質の「解毒」、食べ物の消化に必要な「胆汁の分泌」という大きく3つの役割があります。お酒を飲まない人の脂肪肝発症の原因のほとんどは、生活習慣の乱れや生活習慣病が原因です。原因となるのは「肥満」や「糖尿病」「高血圧」「脂質異常症」などで、これらは「メタボリックシンドローム」の要素でもあります。アルコールが原因ではない脂肪肝でも、10～20%は脂肪肝炎へと進展します。アルコールが原因ではない脂肪肝炎は「NASH(ナッシュ：非アルコール性脂肪肝炎)」と呼ばれます。

NASHに気をつけたい人・・・

NASHの発症には遺伝的素因も関係していますが、最も深くかかわっているのはメタボリックシンドロームやその要素です。メタボの要素をたくさんもつ人ほど発症しやすくなります。また、メタボにつながりやすい生活を送っている人(下記参照)も要注意です。また、女性は閉経以降、NASHを発症する人が急激に増えます。女性ホルモンの減少や月経がなくなることで肝臓に鉄が過剰に蓄積したり、繊維化が進むことが関係していると考えられています。また、鉄は本来体に必要なものですが、肝臓に過剰に蓄積すると、肝細胞を傷つけて炎症や繊維化を起こしたり、肝がんの原因となったりします。

脂肪肝やNASHには、特に自覚症状がありません。気付いたときには肝硬変まで進行している人が、NASHの1～2割にみられます。NASHを発症する危険性がある人は、生活習慣の改善がなによりも大切ですが、1年に1度は健診をうけて肝臓の状態をチェックしましょう！



苫小牧市夜間休日急病センター(内科・小児科のみ)

曜日	受付時間	住所
月曜日～金曜日	19:00～翌朝7:00	苫小牧市旭町2-9-2 (電話番号) 0144-35-0001
土曜日	14:00～翌朝7:00	※休日は当番医のほかに、急病センターも診察を受け付けています。
日曜日	9:00～翌朝7:00	
年末年始(12/31～1/3)	9:00～翌朝7:00	

★「苫小牧市医師会ホームページ」にも休日当番医表を掲載しています。
<http://www.toma-med.or.jp/>
また、携帯電話でも休日当番医のWebサイトにアクセスできます。
携帯電話用 URL <http://www.toma-med.or.jp/phone/>
※ご利用の携帯電話の種類によっては、うまく表示できない場合がありますのでご了承ください。

【メタボにつながりやすい生活】

- 早食い、まとめ食いをする人
- 甘いものや脂っこいものが好きな人
- 塩分をとりすぎている人
- 運動不足の人
- 睡眠時無呼吸症候群のある人

9月の日曜・祝日当番医

日程	区分	病院名	住所(苫小牧市)	電話番号
5日(日)	内科系	藤田医院	北光町3-9-21	(0144)72-8105
	外科系	山下医院	大成町1-7-3	(0144)72-8828
12日(日)	内科系	方安庵青雲町クリニック	青雲町2-12-16	(0144)61-5555
	外科系	同樹会苫小牧病院	新中野町3-9-10	(0144)36-1221
19日(日)	内科系	みなかみ医院	新中野町3-5-18	(0144)32-2335
	外科系	苫小牧日翔病院	矢代町2-9-13	(0144)72-7000
20日(月・祝)	内科系	三好内科胃腸科クリニック	豊川町3-6-1	(0144)75-7711
	外科系	江夏泌尿器科医院	木場町2-8-1	(0144)33-3855
23日(木・祝)	内科系	苫都病院	若草町5-10-21	(0144)34-2135
	外科系	三上外科整形外科	元中野町3-8-14	(0144)33-7815
26日(日)	内科系	苫小牧消化器科外科	北栄町3-5-1	(0144)51-6655
	外科系	とまこまい脳神経外科	光洋町1-12-20	(0144)75-5111

(診察時間) 9:00～17:00
当番医は変更になることがあります。
新聞等で確認するか、当日病院へお問い合わせください。
(お知らせ)
『北海道救急医療・広域災害情報システム』を利用して近くの医療機関などが検索できます。
ホームページアドレス <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>
電話 フリーダイヤル 0120-20-8699
携帯電話・PHSからは 011-221-8699

募集

厚真町職員採用試験
(社会人枠)を行います

■職種・人数

技術職(林業業務経験者)、保健師・若干名

■受験資格等

①短期大学(工業高等専門学校および専門学校《2年制以上》含む)卒業程度の学力を有する方で、昭和45年4月2日以降に生まれた方
②普通自動車免許一種
③採用後、厚真町内に居住することができるとがでる方

※技術職は、民間企業等で林業業務の実務経験が3年以上の方で、保健師は、保健師資格を有し保健師業務の実務経験が3年以上の方

■応募手続き(下記書類を提出)

①試験申込書・受験票(役場総務課で交付)

②履歴書(町指定の履歴書に限る)

③業務経験調書(町指定の様式に限る。経験業務内容の詳細を記載)

④学業成績証明書・卒業証明書

⑤写真2枚(最近6カ月以内に正面向脱帽で撮影したもので、縦6cm×横4.5cm)※履歴書・受験票に貼付

⑥返信用封筒1通(住所・氏名を記載し、80円切手貼付)

■応募受付期間

平成22年8月20日(金)から9月30日(木)までの期間で、平日、

午前8時30分から午後5時30分まで受け付けます(土日祝日は休み)。

※郵送の場合は、平成22年9月30日の消印のあるものまで有効)

■試験内容

論文、面接および適性検査

■日時・会場

11月14日(日)・厚真町役場

■合格通知

12月初旬までに合格者へ通知

■採用予定 平成23年4月(予定)

■応募・問い合わせ先

役場総務課総務人事グループ
(〒0145-1692厚真町京町120番地、☎27-2322)

届出

児童扶養手当等の
現況などの提出を

毎年8月は、児童扶養手当(母子世帯など)や特別児童扶養手当(障がい児世帯対象)を受けている方に、現況届または所得状況届を提出していただく時期です。

この届けは、受給者世帯の所得や児童の養育状態を確認し審査するためのものです。届出用紙は、役場町民福祉課子育て支援グループにあります。

■提出期限

・児童扶養手当

8月31日(火)まで

・特別児童扶養手当

9月10日(金)まで

※期限までに提出のない場合は手当の支払いが差し止められることがありますので、ご注意ください。

■提出に必要なもの

①印鑑 ②手当証書

③世帯全員の住民票(児童扶養手当のみ)

④今年1月2日以降に厚真町に転入された方は、前住地の市町村長が発行する前年の所得証明書

■提出先・問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンター「ゆくり」内☎26-7872内線109)

支給

児童扶養手当等が父子
家庭の皆さんにも支給

平成22年8月1日から、父子家庭の皆さんにも児童扶養手当が支給されます。

父子家庭の支給要件は?

次の①～⑤のいずれかに該当する子どもについて、父がその子どもを監護し、且つ、生計を同じくしている場合に支給されます。

①父母が婚姻を解消した子ども

②母が死亡した子ども

③母が一定程度の障害の状態にある子ども

④母の生死が明らかでない子ども

⑤その他(母が1年以上遺棄している子ども、母が1年以上拘禁されている子ども、母が婚姻によら

ないで懐児した子どもなど)

父子家庭の方が受給するためには?

平成22年11月30日までに申請いただと、次の取扱いとなります。

①平成22年7月31日までに支給要件に該当している方

・11月30日までに申請をすれば、「8月分」から支給されます。

②平成22年8月1日以降、11月30日までに支給要件に該当した方

・11月30日までに申請をすれば、「要件に該当した日の翌月分」から支給されます。

※8月～11月分が支給されるのは12月です。11月30日を過ぎると、「申請の翌月分」からの支給になります。

申請手続きに必要なものは?

申請にあたっては、受給資格者および該当する子どもの戸籍謄本(抄本)や住民票が必要です。

■問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンター「ゆくり」内☎26-7872内線109)

募集

役場総務課の
臨時職員を募集します

役場総務課では、次により一般事務の臨時職員を募集します。

■職種・人数 一般事務・1人

■年齢 町内在住で60歳以下の方

9月の運転免許証更新時講習の日程

苫小牧交通安全センターで行っている運転免許証更新時講習(優良)の日程をお知らせします。

◆午前10時開講: 1日(水)、3日(金)、8日(水)、9日(木)、10日(金)、15日(水)、17日(金)、21日(火)、24日(金)、28日(火)、30日(木)

◆午後1時30分開講: 2日(木)、22日(水)
◆午後3時30分開講: 14日(火)、29日(水)

※このほかの講習日程(一般、違反、初回)については、下記までお問い合わせください。

※優良は5年以上継続して免許のある方で、過去5年間無事故・無違反の方。

■問い合わせ先 (社)苫小牧地区交通安全協会 (☎0144-33-1458)

ループへ直接提出してください。

※原則として窓口にお越しいただき受付させていただきます。

■応募期限 8月24日(火)

■選考方法

書類選考または面接となりますので、後日応募者に通知します。

■その他

社会保険等については、関係する法律に基づいて適用します。

■応募・問い合わせ先

役場総務課総務人事グループ
(〒0159-1692厚真町京町120番地、☎27-2322内線214)

歯科

訪問による歯科保健
サービスのご案内

難病や障がいがあるために、歯やお口のことなどで困っていても歯科検診することが困難な方に、訪問による歯科保健サービスを行います。お気軽にご相談ください。

■対象

難病、心身に障がいのある方等、在宅で療養されている方(手帳の有無は問いません)

■訪問者

苫小牧保健所の歯科医師、歯科衛生士

■申込み方法

電話により苫小牧保健所(健康推進課健康増進係)までお申し込みください。利用料は無料です。

(☎0144-34-4168)

催し

吟詠・剣詩舞発表会が行われます

多くのご来場をお待ちしています。

■日時

9月5日(日) 午前10時開演

■場所

厚真町総合福祉センター

■主催

聖月流日本吟剣詩舞道会厚真支部

※入場は無料です

■問い合わせ先

詩吟吟舞同好会
代表 藤江利津子さん
(☎0145-28-2226)

更新

医療受給者証の更新手続きを

お手持ちの医療受給者証の有効期間が平成22年9月30日までとなっている方で、10月1日以降も引き続き使用される場合は、平成22年9月30日までに更新手続きが必要となります。

■申請に必要な書類

○特定疾患医療受給者証をお持ちの方

①有効期間更新申請書兼臨床調査個人票(医師の記載から3カ月以内のもの)

ないで懐児した子どもなど)

父子家庭の方が受給するためには?

平成22年11月30日までに申請いただと、次の取扱いとなります。

①平成22年7月31日までに支給要件に該当している方

・11月30日までに申請をすれば、「8月分」から支給されます。

②平成22年8月1日以降、11月30日までに支給要件に該当した方

・11月30日までに申請をすれば、「要件に該当した日の翌月分」から支給されます。

※8月～11月分が支給されるのは12月です。11月30日を過ぎると、「申請の翌月分」からの支給になります。

申請手続きに必要なものは?

申請にあたっては、受給資格者および該当する子どもの戸籍謄本(抄本)や住民票が必要です。

■問い合わせ先

役場町民福祉課子育て支援グループ(総合ケアセンター「ゆくり」内☎26-7872内線109)

募集

役場総務課の
臨時職員を募集します

役場総務課では、次により一般事務の臨時職員を募集します。

■職種・人数 一般事務・1人

■年齢 町内在住で60歳以下の方

■願書配布
・交番、駐在所、警察署で配布しています。

■受付期間

・8月4日～8月25日まで

■試験日

・9月19日(日曜日)

道内各試験会場で実施

■受験資格

①年齢

昭和53年4月2日～平成5年4月1日までに生まれたもの

②試験区分

・A区分く大学(短大を除く)等を卒業又は平成23年3月卒業見込みの者

・B区分くA区分以外の者

■問い合わせ先

苫小牧警察署
(☎0144-35-0110)
採用案内専用フリーダイヤル
(☎0120-860-314)
※警察本部、苫小牧警察署のホームページにも掲載されています。

■お問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
(☎011-290-5601)
役場町民福祉課町民生活グループ
(☎0145-26-7871)

公募

後期高齢医療運営協議
会委員を公募します

北海道後期高齢者医療広域連合では、住民の皆さまの代表として、制度運営に関する重要事項についてご審議いただくため、運営協議会委員を募集しています。

■応募資格

道内在住の満20歳以上の方(た

だし、議員や公務員等を除く)

■応募人数 3人

■任期

平成22年9月から平成24年6月まで

■応募方法

応募用紙と小論文(テーマ:新たな高齢者医療制度のあり方)の提出。

応募用紙等は、役場の窓口にあります。

■応募締切

平成22年8月31日(火)

■選考

選考委員会において、総合的に委員を選考します。

■報酬等

1日につき5千円の報酬と旅費が支給されます。

■問い合わせ先

北海道後期高齢者医療広域連合
(☎011-290-5601)
役場町民福祉課町民生活グループ
(☎0145-26-7871)

入賞

厚真ひまわりバレー
ボール少年団3位入賞

厚真ひまわりバレーボール少年団(立石恵輝監督)が、7月3～4日にかけて江別市で行われた「フアミリーマートカップ第30回記念全日本バレーボール小学生大会南北北海道大会」に出場し、見事3位に輝きました。

環境行動目標

リサイクル製品を積極的に使おう

厚真町環境対策町民会議

まの かおる
真野 薫くん
H 19・8・14 生
父—純 平さん
母—友 美さん
(上厚真)

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「公園で元気いっぱい遊ぶことが大好きですね。家ではパパが好きな『ビートルズ』と一緒に口ずさんでいます。最近は大きな車に興味があって、ゴミ収集車やパワーショベルがお気に入りです」



けあげ はづき
蹴揚 葉月くん
H 19・8・8 生
父—弘 樹さん
母—望 さん
(上厚真)

●—わが家のアイドルはこんな子です。—●

「家でも走り回っている活発な子なんですよ！ミニカーとすべり台や砂場で遊ぶことがお気に入りなんです。扇風機の風を、自分に当たるようにスタンバイしてから寝るのにはびっくりですね」

■今月の表紙

厚真高校野球部（前川護監督）が6月28日、第92回夏の高校野球大会室蘭支部予選に出場しました。

1対6の劣勢で迎えた9回表、連打で一挙3点を奪う猛反撃。惜しくも勝利に手が届きませんでしたが、選手たちの全力プレーに惜しめない拍手が送られていました。

■今月の内容

こんにちは厚高です	： まちの話
厚高野球部フォト特集	： 循環福祉バスの予約制
第22回参議院議員通常選	： いきいきふるさと図鑑
挙	： みんなの広場
ハスカップフォーラム開	： まなびや
催のお知らせ	： 健康情報・ほけんの掲示板
	： 情報ひろば

2010年8月

NO. 696

7月末現在の人口
4,907人(前月比 + 15)
男 2,384人／女 2,523人
世帯数 2,052 (前月比 + 0)